

テーマ

玉湯っていいね！

事業実施地区（中学校区名）	松江市立玉湯地中学校区
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	松江市玉湯公民館

テーマの背景

玉湯小学校にあるセンダンの木は樹齢130年以上。玉湯のまちをずっと見守ってきた。その玉湯小学校も大谷小学校と統合し移転する。子どもの頃、みんなが学び・遊んだ場所、そこにあるシンボルをなくすわけにはいかない。今回の「玉湯センダンまつり」は、玉湯のシンボルとして、住民が集まる場所として、「子どもたちが帰ってきたくなるまちづくり」の拠点を創出するもの。「玉湯っていいね」と住民が思うまち、その中心にセンダンの木があり続けられたいと願う。

実際の取組

⑤ふるさとの「ひと・もの・こと」を次世代に伝え、守っていく活動の実施

事業名：玉湯センダンまつり

<取組の概要>

老若男女を問わず、すべての玉湯町民が参加・参加意識を持つために、子どもみこしやまがたま太鼓部の演奏、玉造音頭など幅広い方々が参加できる催しを用意した。地元有志による縁日コーナーも充実させ、長時間、楽しめるように工夫し、一昨年、全国大会の小型ポンプ車の部で最優秀に輝いた消防団の体験コーナーもあり、楽しむだけでなく、学びや住民間の交流が生まれるよう心掛け、地元住民が誇りや一体感を持てるように、企画した。また、センダンの木にまつわる思い出を葉っぱのように貼り付けていく絵も用意。住民のそばにセンダンの木があったことを改めて感じる催しとした。

<成果と課題>

初回で、1300人参加という成果を得た。最後に、参加住民全員でセンダンの樹の前に踊った玉造音頭は壮観だった。玉湯小学校やその他関係団体の協力があったからこそ成功だった。移住した方にもセンダンの樹や住民の顔を知ってもらえる機会となった。しかし、これで満足することなく、希薄になりつつある「住民相互の交流」、「住民の一体感」を促進・醸成できる場所・催しとして、さらに発展させていかなければならない。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

「玉湯っていいね」。この言葉こそ、どこの地域でもなくなりつつある言葉ではないか。その言葉を誰もが意識するためには、何よりも住民の交流が重要であろう。ただ、その場所すらなくなりつつある。そんな今、誰もが通い、身近にあった小学校にあるシンボル「センダンの樹」を中心とした住民の居場所づくりこそ、身近な「地域」を感じることにつながる。

今後の展望

「センダンの樹」広場がスポーツやレクリエーション・イベントなど老若男女みんなが集える広場、だれもが「玉湯っていいね」と思える広場になるよう、今後も関係各所に働きかけていく。

松江市玉湯公民館 岩田 渥男

【活動の様子】



イベント

清涼ラッパ隊 たまゆんステージ
子どもみこし 布志名踊り
玉湯小まがたま太鼓 shake it off
みんなで挑戦! O×ツイズ
みんなで踊ろう 玉湯音頭

緑日

ポップコーン 冷やし胡瓜
かき氷 スーパーボールすくい
ジュース ヨーヨー釣り
わたがし 生ビール

玉湯小学校校庭
8.19(土)
16:00～18:30

玉湯センドンの樹
アートパネルショー

※駐車場は玉湯中学校/玉湯体育館駐車場をご利用ください
玉湯センドンまつり実行委員会
事務局：玉湯公民館 0852-62-9111



～公民館を核とした持続可能な地域づくり推進事業～
公民館ふるさと教育推進事業 取組事例